

知能機械工学専攻 1 年
木野研究室

後藤 雅明さん

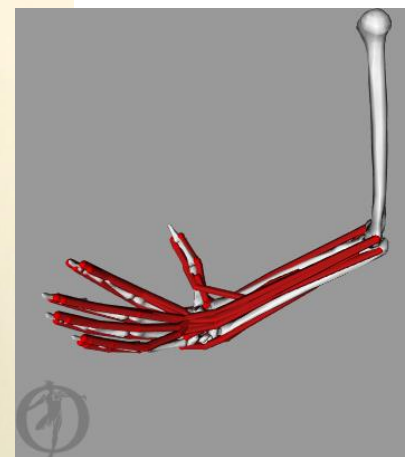
SICE SI2017
計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会
SI2017 優秀講演賞受賞

2017年12月20日～22日宮城県仙台市で開催された第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会「SI2017」が開催され、本学 木野 仁教授、知能機械工学専攻 1 年後藤 雅明さんと九州大学 田原 健二准教授、山口東京理科大学 越智 裕章助教、熊本高专 松谷 祐希助教の共同研究が優秀講演賞を受賞しました。メンバーは田原准教授を除き、全員木野研究室の OB で、今回の講演は代表して後藤さんが行ないました。



知能機械工学専攻 1 年 木野研究室
後藤 雅明さん（大分舞鶴高校出身）

知能機械工学科
木野 仁 教授



人間の持つ筋骨格構造のモデル

「SI2017」は、高機能化・複雑化するシステムの諸問題を解決し、更に、システムの設計論を開拓・構築するため、人間・社会・人工物が関わる様々な分野における俯瞰的システムインテグレーションをテーマとして、全国の産官学の研究者・技術者が集結して当該分野に関連する講演発表および討論を行うものです。今回の講演テーマは「人体モデルを想定した筋骨格システムにおけるフォワード制御の解析」。この研究は人間のような柔軟な動きをするロボットを開発するために、人間の持つ筋骨格構造と脳などの中枢神経からの信号の伝達に着目して、人間がどのように動いているかを解析したものです。

今回の受賞に関して後藤さんは、「学会での初めての講演で受賞できてうれしい。研究の過程では解剖学を学ぶことや、数理モデルの構築のための計算に苦心したが、努力が報われてよかった。これからもこのような評価が受けられるように頑張りたいです。」と笑顔で話してくれました。

掲示期間 H-29-279
2月20日～3月9日

この件のお問い合わせは広報課へ